

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	昭和46年		
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	02 健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	施策	06 健康づくり
事務事業名	02	栄養委員会事業	
根拠法令・規程等	備前市栄養委員会規則		
問	担当課(室)	保健課	
合	職・氏名	健康係長・白麗由美子	
先	電話	64-1820	
このシート作成に要した時間			2.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	栄養委員
目的(何のために)	市民の健康づくりをすすめるための「健康づくり(栄養改善)ボランティア」として育成する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	委員が自らの健康課題に気づき、地域の健康づくりリーダーとして栄養改善事業、地域づくりに取り組むことで、市民の健康づくり意識の向上を図る。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	栄養委員会事業	健康づくりを推進する「健康づくり(栄養改善)ボランティア」として、市長の委嘱を受けた栄養委員を育成し、市民の健康増進を図る。 伝達講習会(親子料理教室)、減塩普及事業 他組織(教育機関、保育園、地域の団体等)と連携した食育事業	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	事業費	千円	1,970	2,059	2,757
	必要人員	人	1.36人	1.55人	1.29人
	事業費計	千円	11,423	13,186	11,858
財源	国	千円			
	県	千円			
	支	千円			
	出	千円			
受	益	千円			
	者	千円			
	負	千円			
担	入	千円			
	金	千円			
源	市	千円			
	他	千円			
一般財源		千円	11,423	13,186	11,858
受益者負担比率		%	-	-	-

結果指標		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	事業	説明	2,002	1,950	1,766
対前年比	%		-	97.4%	90.6%
活動コスト	円		11,423,000	13,186,000	11,858,000
単位当たりコスト	円		5,706	6,762	6,715

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
市総会、地区総会、栄養委員研修会(3s)の平均参加率	目標値(A)	85	85	85	85
	実績値(B)	88	83	85	到達目標値
	達成率(B/A)	103.53%	97.65%	100.00%	85

成果指標設定の考え方・式や説明
 市総会、地区総会、栄養委員研修会(3s)の参加平均人数/栄養委員会委員数(208人) * 100
 H20年 (915 ÷ 5) / 208 * 100 = 88 H21年 (867 ÷ 5) / 208 * 100 = 83 H22年 (883 ÷ 5) / 208 * 100 = 85

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い				
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い				妥当性評価 <A-E> B
	必要性	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するため以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている				効率性評価 <A-E> B
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している				有効性評価 <A-E> B

事業の有効性を評価する際の留意点

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	平成23年度は改選期であるため、栄養委員研修会を実施する意義や目的を十分に説明して出席を促す。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い				
評価区分 <A-E>	B	平成22年度は2年目であったため、地区での自主活動(伝達講習会、親子料理教室等)がスムーズに進行した。また、反省会では栄養委員活動をおして振り返りかえったところ自分の健康課題に気づいたものが9.6%、そのうち改善を実行したと答えた委員は9.4%であった。委員研修会の出席から始まり、地区での伝達講習会等の自主活動を開催しながら自らの健康課題を見つめさらに改善を実行する行動に移行する委員を養成することで地域の健康づくりに貢献している。				

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	任期が二期めにはいる。自主性を持って出席する総会、委員研修会や地区委員会を開催するようにつとめる。					